

◎タブレット端末を使って「できるようになった」こと

▲タブレット端末の導入で見えてきた現時点での課題

生徒の「力」を伸ばすために、タブレット端末を活用します！

タブレットの導入から1ヶ月経ちました。浅江中では、生徒一人ひとりに貸与されているというこの絶好の環境を生かすべく、早速、授業での積極的な活用を行っています。実は、春の臨時休業期間からこれまで、本校では、計画的にタブレット端末の活用に向けた研修を積み重ねてきました。そのため、1月の導入と同時に、ほぼ全ての教科、全ての学年で使い始めることができています。コロナ禍の影響で導入が早まったこともあり、「個別学習のため」のイメージが強いタブレットですが、一番の目的、目標は「生徒の将来に生きる“力”を身に付けること」です。“学校ならではの”使い方を意識し、「対話的・深い学び」の機会をしっかりと提供していきます。教職員にとってこれだけ大がかりな改革は初めての体験ではありますが、タブレット端末の導入によって広がる「新たな学び」の世界に、大きな期待を寄せています。

生徒にとって

◎ みんなで学習したこと、一緒に考えたことが記録に残る

◎ 授業に積極的に参加できる

◎ 視覚的にわかりやすい

◎ 情報が容易に入手できる

◎ 理解度に合わせて学習できる

仲間と一緒に“書きながら”考え、アイデアを形にしていく

協働学習



タブレットを使って無駄を省き、主体的に取り組む時間が増える

一斉学習

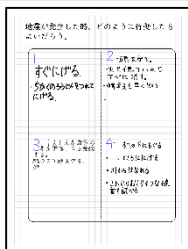


それぞれの力に合わせ、自分のペースで進められる

個別学習

対話的・深い学びをめざして

タブレット端末を使うメリット



・タブレットを使って1つのシートに、複数人でも同時に書き込める(協働作業が可能)



・画面上で図形が動かせる
・拡大したり縮小したりすると、データや表、図形などが理解しやすくなる



・eライブラリ(個別支援ツール)を活用して、どこに課題があるのかを把握できる

まだまだあります「学校ならではの」使い方



・各グループで話し合った結果を、前の大型モニターで写すことができる



・資料を瞬時に提示できる
・一斉にデジタルでプリントを配付し、回収できる
・その場でアンケートをとり、結果を瞬時に画面に出せる



・教師は、生徒一人ひとりの学習状況をリアルタイムで確認することができ、個別に書き込み指導ができる

教師にとって

◎ 教室にICT機器が使える環境がある

◎ 動画や音声データも容易に扱える

◎ 黒板に板書する時間が減り、対面指導の時間が増える

◎ 一人ひとりの学習状況の把握が容易にできる

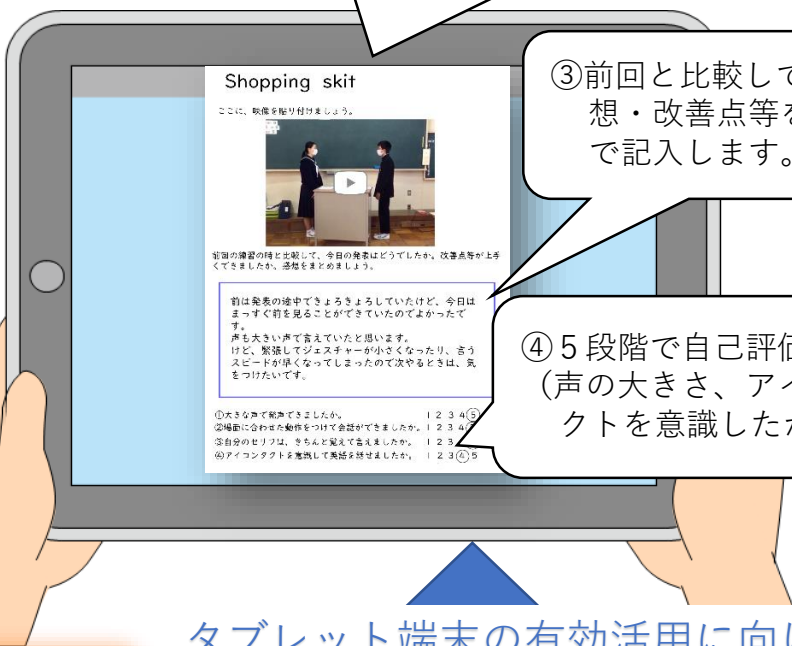


タブレットを活用した授業より（英語）

①ペアになり、タブレットを使って会話の様子を録画します。



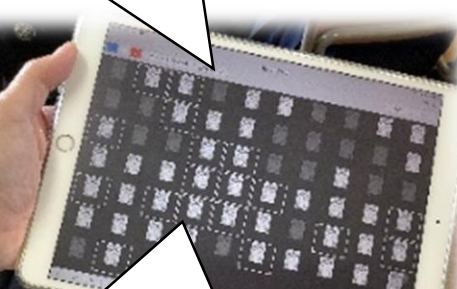
②タブレットに配布されたワークシート（ノート）に自分の会話映像を貼り付けます。



③前回と比較しての感想・改善点等を文章で記入します。

④5段階で自己評価します（声の大きさ、アイコンタクトを意識したかなど）

⑤授業担当の教員は、いつでもどこでも生徒が作成したノートをチェックすることができます。個別にコメントも書けます。



⑥もちろん、生徒たちも復習したいときには、いつでも振り返ることができます。

⑦しかも、生徒・教員、両方の手元に学習の軌跡が残せます。

タブレット端末の有効活用に向けて

見えてきたタブレットの課題

- ▲「粘り強く考える」習慣が身につけにくいのでは？
- ▲タブレットに集中しすぎて、先生の話を聞き逃すことがないか？
- ▲タブレットばかりでなく、紙と鉛筆を使って考えさせることも必要では？

- 常にリアルな体験との“バランス”を意識して活用を進めます。（学校全体で研究、研修を進めていきます）
- タブレット活用時は、その授業の「到達目標」を意識させるようにしていきます。（タブレットを使うこと自体が目的にならないように）

- ▲健康面への影響があるのでは？（目が疲れる、肩こり等）

- 使用時間・姿勢等を意識させる指導を心がけます。
- 保健委員会では対応策を検討していきます。

- ▲タブレット使用経験の差が出てしまうのでは？

- まずは「慣れさせる」ことから始め、使用経験の差を埋めていきます。
- 貸与された目的・意義を踏まえ、学級委員会でルール作りを行い、効果的な活用方法の確立をめざします。

教科書や問題集だけでは答えにたどり着けない、まだ答えのないような課題にこれからの子どもたちは直面し続けます。新型コロナウイルスや大規模災害などは、まさにそのような問題です。そのような現代的な課題に取り組み、自分なりに答えを見つけ出す上で、タブレット端末を活用する力は、大切なスキルの一つであると考えられます。

